

江府町の認知症対策 体系図

大目標	認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり										【ベースとなるもの】 ○いつまでも江府町で暮らし続けたいという思いがある ○普段から集落内の住民同士が声をかけあうよい関係がある	
中目標	早期発見・早期対応のしきみがある			軽度の認知障がいがあっても生活障がいが行進しない		認知症が進行しても安心して外出できる		生活障がいが行進しても自宅で生活できる		家族が安心できる		よい対応をしてくれる施設サービス
小目標	身近で検査を継続して受けることができる	必要な治療を受けることができる	周囲が早く気づいて保者に相談できる	脳刺激のある生活を送ることができる		子どもたちが認知症のことを知っている	地域住民・役場職員・事業所・薬局・郵便局・銀行等が認知症の方と対応のしかたを理解している	必要な介護サービスが受けられる	周囲の人に認知症であることを話せる	相談先を知っている	家族が認知症の理解をして本人が安心できる対応ができる	事業所職員が認知症の理解を十分にしている
	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
	専門医療機関への紹介	認知症の症状を知っている	社会活動をする居場所がある	地域で声かけができる(訪問・出会ったとき)	家庭で子どもたちと認知症のことが話せる	困っているところを見かけたら声かけができる	声かけて、必要があれば、家族または包括等に連絡ができる	様子見の声かけ・生活のお手伝いをしてくれる人がいる	家族の話聞いてくれる人がある(場がある)	正しい対応を学ぶ機会がある	家族が周囲の支援を受け入れる	関係者(かかりつけ医、サービス提供事業所、包括)と家族とのコミュニケーションがとれている
	専門医療機関とかかりつけ医が連携し適切な医療が受けられる	相談先を知っている		周囲が見守りのしかたを知っている								家族・ケアマネ・医療・包括との連携がとれている
一次予防	認知症に対する普及啓発地域力の醸成	(社会活動・居場所づくりの推進)										4-1. 認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進 (1) 認知症サポーター養成の推進 (2) すべての年代の人が認知症を正しく学ぶための教育や啓発のあり方の検討 見守り事業所の増加 (集落ぐるみでの啓発普及)
		ほっとサロン【社協】(40集落ごと年1回) まちなかサロン(江尾) 神奈川サロン(明倫) 保野いこい広場(保野) オレンジカフェ(保野)【社協】 老人クラブ【自主】(連合会事務局・社協) いどはたグループ【自主】 ウエルビクス運動グループ(15)【自主】			小中学生サポーター養成 保護者との共有		認知症サポーター養成とスキルアップ		認知症キャラバンメイトの養成		見守り事業所への普及啓発と連携(あいきょう・郵便局・商工会・町内事業所等)	
	集落ぐるみでの啓発(出張福祉保健講座・もの忘れ健診モデル集落・地医研サークルモデル集落での啓発)											
二次予防	認知症地域支援推進員	認知症地域支援推進員(認知症に関する相談員・コーディネーター・啓発活動等)の配置										4-3.(2) 認知症地域支援推進員の配置・コーディネート (相談窓口の周知普及)
	相談窓口周知	相談窓口【町内】江府町地域包括支援センター・認知症地域支援推進員・かかりつけ医など【町外】認知症の人と家族の会・若年性認知症コールセンターなどの周知										
二次予防	ハイリスク把握	基本チェックリストの実施 ハイリスク者へのフォロー(要検討) 江府町もの忘れ健診(H24~26実施)(要検討)		4-2. 認知症への早期の気づき・早期対応のための体制整備								
	初期集中支援	認知症初期集中支援チーム(包括直営・チーム会議(月1)) (適切な対応やサービスにつながらないケースへの初期集中的な支援)										(1) 「認知症初期集中支援チーム」の設置 (2) 早期の気づき・早期対応のためのしきみづくりの検討
二次予防	医療連携	もの忘れ外来(第1・3木午後)【包括と江尾診療所の共同運営】										4-3. 江府町版「認知症ケアパス」の整備、 医療・介護等の連携の推進
		かかりつけ医・かかりつけ薬局との連携(江尾診・佐伯医院・西伯病院・日野病院・江府総合薬局など) 認知症疾患医療支援センターとの連携(〔基幹型〕鳥大病院・〔地域型〕西伯病院・養和病院)										
三次予防	当事者支援	江美の会(月1)【包括】(当事者とサポーターの会)		(当事者支援)								4-5. 認知症の人の家族・介護者への支援
	家族支援	4-4. 認知症の発症予防、重症化予防のための居場所づくり										
三次予防	関係機関研修・連携											家族の会(月1)【包括】(認知症の人と家族の会吉野代表の協力による) 介護者の集い(要検討)
	一人歩きへの対応	4-6. 認知症高齢者等のSOSネットワーク・地域での見守り体制づくり		認知症高齢者等事前登録制度(予定)(防災担当・包括・警察・ケアマネ等) 認知症高齢者等行方不明時対応マニュアル(作成予定)(防災担当・集落・包括・警察・消防・社協・ケアマネ・事業所等) 認知症高齢者等SOSネットワークづくり・模擬訓練等(予定)(防災担当・集落・包括・警察・消防・社協・ケアマネ・事業所等)								4-7. 認知症対応型介護サービスの検討
今後検討が必要なこと	今後のスクリーニング検査体制の検討 相談窓口の周知 適切な医療・ケアを提供するための連携整備・強化(病診連携、医療介護連携)		地域住民とつくる認知症カフェの実施 集落に1以上のグループをつくる(居場所づくり) 地域で過ごせなくなった原因の解析、対策の検討		認知症を理解する者、サポーターの増加、若い世代のサポーター養成、見守り事業所の増加・連携、		認知症高齢者等事前登録制度(予定)(防災担当・包括・警察・ケアマネ等) 認知症高齢者等行方不明時対応マニュアル(作成予定)(防災担当・集落・包括・警察・消防・社協・ケアマネ・事業所等) 認知症高齢者等SOSネットワークづくり・模擬訓練等(予定)(防災担当・集落・包括・警察・消防・社協・ケアマネ・事業所等)		家族支援の充実(家族の会の周知等)			